一般質問

（2～5ページ上段まで）

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は19人33件の一般質問がありました。

（他はその他の質問）

学校二期制 どのような協議をしてきたか

趣旨や課題への対応策を協議検討してきた

柴野 和夫議員 平成15年第4回定例会で、学校二学期制の導入について一般質問したが、その後、本市では、16年4月から府中第一中学校で学校二期制が始まるなど、取組に変化が出てきている。

そこで、二期制実施の目的と、実施に至るまでの間、どのような協議や検討をしてきたのか。

また、17年度の学校二期制の現状はどうなっているか。

教育長 目的は、学習指導の在り方を工夫することや、バランスのとれた行事を実施すること。また、長期休業前のガイダンスを工夫して、生徒の自発的な生活態度を養いながら、継続・計画的に学習習慣を身につけさせること。そして、授業時間の確保である。

導入に際し、保護者に対する説明等の必要性を指導助言し、二期制の趣旨や課題への対応策を協議検討してきた。

学校教育部長 17年度では、府中第一中学校と府中第九中学校の2校で実施している。

▲府中第一中学校

外郭団体職員の派遣研修 実施の考えは

研修を受け入れられるよう調整したい

村井 浩議員 シルバー人材センターの会長、副会長及び事務局長の三役が市職員のOBだが、それで団体の活性化が期待できるのか。現場体験のない三役がベストなのか。

福祉保健部長 現場体験がない点は、現場ニーズの把握の面で課題があることも考えられるので、その旨を団体の理事会に伝えていきたい。

議員 平成15年の一般質問で、外郭団体職員の短期間の派遣研修を検討していると答弁があったが、実際には、実施されなかったと聞く。

本庁舎の市職員は、他市と比べても市民の評価は高い。

そこで、外郭団体職員の研修を市役所で実施する考えはないか。

総務部長 17年度から文化振興財団の職員1名を行政実務研修として受け入れている。

今後、他団体からも1週間または1か月単位の研修が受け入れられるよう調整したい。

他 府中市の消費者相談の先生は今も午後4時の契約時間が過ぎたらあいさつもしませんか

50周年を迎えたPTA連合会 今後期待することは

課題の解決に向け機能の充実・発展を期待する

鈴木 錦治議員 府中市立小・中学校PTA連合会は、市制施行の翌年に発足し、今年50周年を迎えた。

本市で子どもを育てた、あるいは、育てている親は、ほとんどがPTAにかかわりを持っているが、PTAには、保護者同士や先生との接点となる役割があり、今後ますます重要性が増していくと考える。

そこで、PTA連合会に対し、今後期待することは何か。

学校教育部長 児童・生徒の豊かな心や確かな学力の育成、開かれた学校づくりなど、課題の解決に向けて、学校、家庭、地域が情報や行動の連携をより一層深めていくために、その機能を充実、発展させていくことを期待している。

また、これからの小・中学生の教育には、地域の教育力は欠かせない要素であり、その点も期待している。

他 小・中学校での研究協力校の推進について

職員のアイディアを施策に生かす仕組みは

職員提案制度等を通じて改善の提案を求めている

杉村 康之議員 市長が掲げる「ソフトパワー」は、私も大きく期待をしている。

しかし、今、市長の思いがどれだけ職員に伝わり、実現に向けてどのような取組が行われているのか大変気になる。

横浜市などでは、発案者が所管課へ異動し事業を進める「庁内ベンチャー」制度等もあると聞く。

そこで、本市において、職員のアイディアを施策に生かすための仕組み及びその成果を聞きたい。

総務部長 仕組みとしては、職員提案制度等を通じて、改善意見の提案を広く求めており、平成14年度には50件、15年度には100件、16年度には92件の提案があった。

実現した提案事例としては、安全性向上のための地下駐車場の壁の一部撤去や、職員の防犯活動への参加、広報紙上の有料広告の掲載等がある。

他 教科書の採択手順について

安心して生活できる街のため 今後の施策の展開は

防犯活動に必要な支援を実施していく

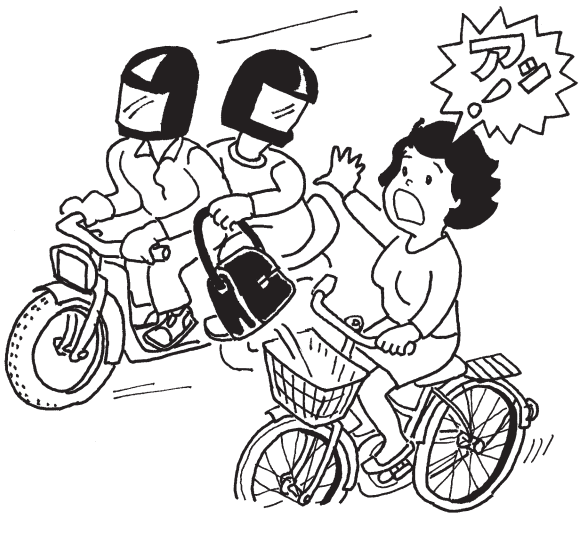
村木 茂議員 最近、府中駅周辺の地域環境の悪化が目立ってきている。

同駅周辺の商店街や自治会では、自分たちの街は自分たちで守るため、世話人会を開き協議しており、先日も他市を視察し、防犯カメラ設置による犯罪抑止力等について、意見交換をしたと聞く。

市民生活の安全確保に関する条例が施行され、市民が安心して生活できる街を目指した活動を推進するために、今後の施策展開を聞きたい。

市長 府中市生活安全推進会議からの提言による市、市民、事業者等が各責務を果たしながら相互に協力し、連携した活動の推進や活性化等を主な施策として展開していきたい。

市民による犯罪防止活動は市内全域での活動に広がりつつあるが、関係団体と連携し、安全で快適に住めるまちづくりに向けた活動を推進し、防犯活動に必要な支援を直ちに実施していく。



芝間通り 歩道拡幅の考えは

地権者等の意向を踏まえ改善策を検討していきたい

林 辰男議員 芝間通りの矢崎町3丁目地内の雑田堀から新田川緑道までは、歩道幅が1mと狭い。ここは通学路になっており、多くの子どもたちが利用しているので、大変危険である。

そこで、この歩道を拡幅する考えは。

▲芝間通りの歩道

また、サントリー西側の雑田堀から西門までの歩道は、半分が用水路のふたの上なので段差がある。

そこで、用水路と歩道を一体化して整備すべきと考えるがどうか。

市長 通学路に認定されていることもあり、安全性の確保についての配慮が必要と考える。拡幅は地権者の協力が不可欠なので、関係者等の意向も踏まえ、改善策を検討していきたい。

都市整備部長 当該用水路は雨水処理のために利用されているので、歩道拡幅の改善策とあわせ検討する必要がある。

他 第三都市遊歩道名称変更について